



若い群像

小林和子さんは、女性の夢をつくるファッションデザイナーを目指して勉強中のお嬢さん。

「小さい頃から細いことをするのが好きだったので、何か技術を身につけよう。それには憧れていたファッションの道を」と四十六年高校卒業と同時に、北海道文化服装学院留萌分校の洋裁師範科に入學、いよいよ今月は卒業と嬉しさいっぱい。

しかし、四月からは札幌にある同学院の本校で、もっともっと洋裁の勉強を重ねるのだそう。

本校では、専攻科（デザイナー養成）へ入學が決定している。

将来は、留萌に戻って、留萌の女性をビュッテフルに飾りたいという。

「町を歩くと、すごく若い人のファッションが気になりますね。でも、規格品のようなオシャレはいやですね。

やっぱり独創的な、自分にあったオシャレをしたいですね」という小林さんの普段着は、すべてお手製の物という。

仮り縫いのための針を打つ手も軽く、新たな勉強に、胸ふくらませる小林さんです。

広報

若い

'73 3 月号
第180号